

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名： 福島県福島市立大森小学校

活動名： 働きがいのある職場づくり
 チーム力向上と多忙化解消の工夫

解決すべき課題： 近年本校では、大学を卒業したばかりの初任者や、経験の少ない若い講師が多く、学級経営や学習指導などで課題が見られている。また、放課後の時間が少なく、時間的に余裕がないと感じている先生方が多く見られている。そこで、若手育成と働き方改革の2点に絞り、チーム力向上を目指した、働きがいのある職場づくりをめざしたい。

目標・方針： 若手もベテラン教員も自分の強みを生かし、チームとして一丸となって教育活動を推進できるような体制を整えたり、時間的な余裕を作り出したりしていけば、生き生きと働くことができる職場づくりを目指せるのではないかと考えた。そこで、(1) チーム力を生かした若手教員の育成 (2) 日課表の検討 (3) 保護者とのチーム力を生かした取り組みの3点を実践した。

活動内容： (1) チーム力を生かした若手教員の育成【写真1】若手教員の学習指導や生徒指導について、学年を中心に指導を行った。また、初任者には、校内研修の年間計画を立て、それぞれの得意分野をもつベテラン教員に、専門性の高い指導を行えるようにした。また、初任研担当が日程の連絡・調整を密に行うようにし、計画的に研修を行った。

(2) 日課表の検討【写真2】「放課後の時間がない。」という先生方の声から、昨年度より日課表の検討を行った。いくつか提案した中で、先生方が最も納得する時程を編み出し、本年度より実施するようになった。(本年度は、コロナ感染予防対策のため、中休み・昼休みを学年で分け、児童が分散できるように配慮した。)

(3) 保護者とのチーム力を生かした取り組み【写真3】本年度はコロナウイルスによる休校が続き、例年になく教育活動が行われている。そこで、放課後の消毒作業のボランティアを呼びかけ、保護者に校内の消毒作業やトイレ清掃に取り組んでもらった。

活動の成果： ○現職教育の一人一授業や初任者への授業提供を行うことで、若手が具体的に指導方法を学ぶことができたとの声が聞かれた。また、ベテラン教員も、教える立場となったことで、日々の指導を振り返り、よりよい指導法を目指し、より高みを目指した指導技術の向上を図ることができたとの感想があった。

○新たな日課表で、各種会議の開始時刻を早めることができ、放課後に時間的な余裕が生まれた。また、教材研究を行う時間が増えたり、先生方の勤務時間も少しずつ早くなったりしている。

○この状況の中、子ども達のために何かできることをしたいと考えている保護者の方が多いことが分かった。今後も、学校と家庭で協力して育てているという視点に立ち、教育活動を進めたい。

アピールポイント (アイデアや工夫)：

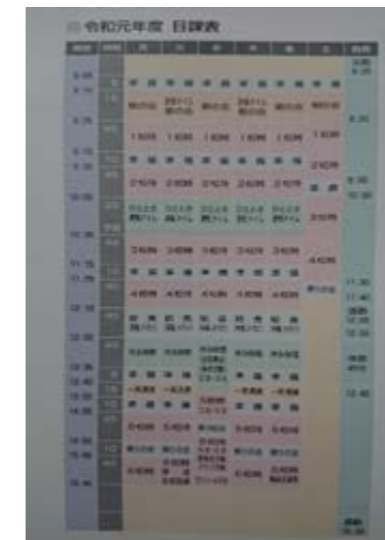
- 先生方の希望や悩みを聞き、その声に応える事ができるように活動を工夫した。
- 提案された内容を一度学年や主任等で話し合う場をもうけ、多くの先生方の意見が校務運営に反映されるようにした。
- 若手もベテランも保護者も「チーム大森」の一員となり、一人一人が自分の強みを発揮できるようにした。

【写真1】チームでの研修の様子



【写真2】昨年度の日課表と今年度の日課表

働き方改革の一環として、放課後の時間にゆとりをもたせるため、今年度は、始業時間を5分早め、ひととき(業間)を5分短くし、昨年度までより、児童の下校時刻を10分早めることとした。



【写真3】トイレ清掃に取り組む保護者ボランティアの方々

